

山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

当山二十八世仁叟寺三十世重興大澄隆司大和尚

令和3年

龍源寺年間行事予定

- 1/1~1/3 年頭祈禱・年賀受
- 1/4~1/7 年始挨拶
- ※1/10 年賀寺例
- ※2/2 大節分会
- ※2/15 釈尊涅槃会
- ※3/14 大般若大施食会法要
- 3/17~3/23 春季彼岸会
- 3/23 旧蚕影山例祭日
- ※4/3~4/4 二十八世本葬儀
- 4/8 釈尊降誕会(花祭り)
- 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要
- 7/13~7/16 京浜地区盂蘭盆会
- ※7月下旬(一泊二日) 第40回子供禪の集い
- 8月上旬 夏季おてんま
- ※8/10 中元寺例
- 8/13~8/16 盂蘭盆会
- 9/20~9/26 秋季彼岸会
- ※10月下旬 檀信徒研修旅行
- 12月上旬 冬季おてんま
- ※12/8 釈尊成道会
- ※12/10 歳暮寺例
- ※12/31 除夜会
- ※毎週水曜日 定例坐禅会
- ※隔週水曜日 梅花講稽古
- ※隔週土曜日 華道教室
- ※毎月最終土曜日 ヨガ教室
- ※は、本寺仁叟寺様にて修行

檀家葬本葬儀 厳粛に無事圓成



法語を唱える石附周行老師



永平寺副貫首羽仁素道老師

議院議員始めとするご来賓始めご寺院様、仁叟寺及び龍源寺檀信徒各位、親族など多くの方々が弔問に訪れ、改めてご冥



龍源寺二十八世仁叟寺三十世重興大澄隆司大和尚の本葬が、4月3日に大夜式(通夜式)、4日に本葬儀として仁叟寺にてしめやかに修行されました。

大導師は、大本山總持寺副貫首であり大雄山最乗寺眞如臺・石附周行老師が乗炬師をおつとめされました。

コロナ禍の中での本葬儀であり、関係各位と打合せを重ね、出来る対策を講じつつ、寺院葬檀家葬として執り行いました。

当日は、三遊亭円楽師匠、中曾根弘文参議院議員、福田達夫衆議院議員、清水真人参議院議員始めとするご来賓始めご寺院様、仁叟寺及び龍源寺檀信徒各位、親族など多くの方々が弔問に訪れ、改めてご冥福を祈っていただきました。本葬実行委員長は仁叟寺矢島正義総代長が任に当たり、寺檀一如となり、しっかりとした本葬儀を行じる事が出来ました。有難うございました。

本葬儀本堂内風景

コロナ禍対策を施した本葬儀の様子



左) 密を防ぐ境内テント
右) モニターを設置した



コロナ禍の状況の中、出来る限りの対策を施しました。密を防ぐ為、境内にもテントを張り、それぞれに祭壇を組み、モニターを設置。本堂内も間隔を空け、全て椅子席としました。またマスク着用、空気清浄機及び次亜塩素酸噴霧器を各所に配置、入場前の除菌消毒を行いました。準備いただいたJAアシストホール吉井様、参列皆様方のご協力、有難うございました。



焼香する三遊亭円楽師匠

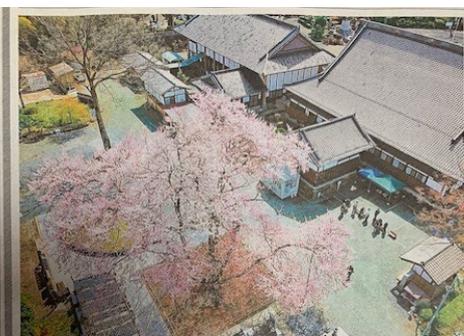


本葬新聞記事（仏教タイムス）



来賓の国会議員各位

仁叟寺通信～今年も綺麗に開花仁叟寺五輪桜～



五輪桜をドローン撮影した新聞記事

例年よりも10日ほど早く開花した仁叟寺五輪桜。本年は上毛新聞にドローン撮影した動画を含んだ記事として大きく紹介され、コロナ禍にも関わらず多くの参詣者が当山に見えられました。（動画は記事QRコードでご覧出来ます）

五輪桜周辺は、自然葬樹木葬の大樹苑として綺麗に整備が進められています。県指定カヤの木、市指定モクの木始めとする銘木は勿論、歴史ある寺院にお詣りいただき、やすらぎのひと時、ご清遊ください。



満開の五輪桜と大樹苑

龍源寺境内地及び墓所被災について

令和元年10月12日に発生した人災・龍源寺境内地及び墓所への産業廃棄物流入事件。早くも1年半が経過いたしました。当山はもとより被災された墓地所有者、被害を受けた土地所有者各位のご心痛は察するに余りあります。経緯については、諸々お伝えしたとおりですが、原状回復、再発防止、早期の解決を願ってやみません。本件に於きまして、何かご意見ご提案、情報提供等ございましたら、住職までご一報ください。檀信徒始め関係各位のご理解ご協力をお願い申し上げます。

昨年末より、二次災害を防ぐ再発防止策の一環として群馬県による工事が始まりました。今まで400年以上に亘り天災被害もない安全な当地であります。被告会社による杜撰な撤去作業もあり、再びこのような惨事が発生しない為の処置であります。

原因となる違法な産業廃棄物の投棄を、長期に亘り会社ぐるみ親族ぐるみで計画的に隠れて繰り返し行った多野造園土木株式会社及び同代表田中広幸被告、土地所有者羽切吉胤被告ですが、裁判を徒らに長引かせているのではないかと、思うほど次々と荒唐無稽な主張を述べております。

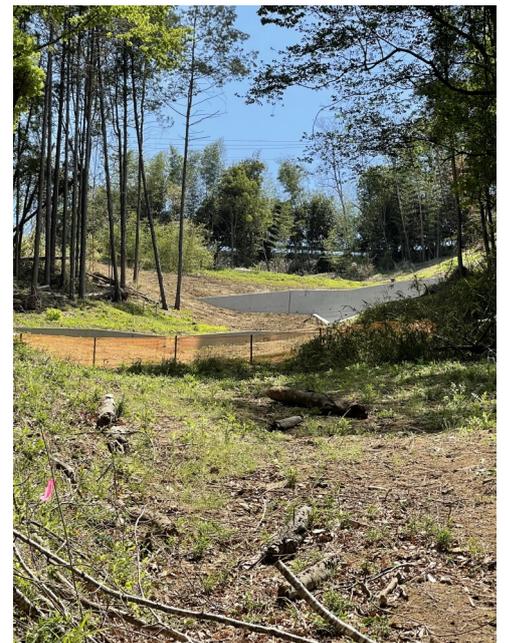
高崎市役所環境部の行政指導により撤去された産業廃棄物の作業について、龍源寺及び被災した檀信徒に対し費用請求を行った件は前号の寺報でも伝えたとおりです。それを受け、当方原告団より裁判所を通じ、群馬県による当該案件は天災ではなく人災であり産業廃棄物によるものとの報告書と高崎市による被告会社に対する行政指導指示書を証拠として提出いたしました。なお同書面は、総会の席で檀信徒各位に等しく配布いたしました。しかしながら、そのような証拠をもってしても、行政指導による撤去ではない、土砂災害が寺院及び志賀功氏、田中道教氏所有土地より発生し上部へ伝播した、つまり下から土砂崩れが発生したという不可解な意見を述べ、被害者であるが如き主張をしています。

本件において、当山は被災された墓地所有者、土地所有者と共に担当代理人である高橋弁護士を交え何度も説明会を行っております。併せて本堂にて預かっているご遺骨のご供養をつとめております。更には、檀家代表の総代人、被災者代表である寺尾富夫会長、須川勇副会長らと共に市役所、警察署などに伺い、状況の説明や話し合いを重ねているところです。

コロナ禍の影響もあり、また被告側の誠意のない態度や主張により、残念ながら長引いております。なお寺院被害は住職のみが負うものではなく、檀信徒各位には是非その点もご理解の上、お心を寄せていただきたく存じます。早期の回復を願い、引き続き精進いたします。合掌



再発防止工事が進む蚕影山上部付近（Ⓐ2月撮影・Ⓑ4月撮影）



檀信徒の皆様へ

住所等の変更がありましたら、必ず菩提寺までご連絡をお願いいたします。

令和2年度 寄進者一覧 (順不同、敬称略)

番号	地域	ご芳名	ご寄進物
1	矢田	木村 照夫	本堂前大鈴本麻縄及び工事一式
2	松田	白田 博	全
3	松田	出牛 均	全
4	松田	白田 幹男	全
5	東京	窪田 広	大施食会蚕影山例祭供米料
6	多胡	田中 道教	境内三波石庭園用銘石多数
7	松田	白田 幹男	新米1俵
8	前橋	筑井 孝子	龍源寺天井絵冊子多数

※1 当山新本堂落慶についての善意につきましては、既に一昨年に冊子にまとめて報告いたしました。同事業会計決算報告は、コロナ禍により今総会が昨年に引き続き内勤となりましたので、役員会に諮った後、遅くとも次回総会を目途に報告申し上げます。

※2 当山人災被災についての御見舞につきましては、各方面より温かい志を頂戴しております。感謝いたします。一区切りしましたら、改めて報告いたしたく存じます。



境内地に新たに添えられた数々の銘石



本堂前の大鈴
及び本麻縄一式



行雲流水 (編集後記)

編集人 住職 渡辺龍道

なかなか収まらないコロナ禍の中、マスクや手洗いうがいも慣れてきた自分もいます。気を緩めることなく、対策をおこない、当山でもご供養を疎かにすることなく、檀信徒各位に対しご提案が出来ればと考えております。私事ですが、昨年度まで子供が通っていた地元多胡小学校PTA会長をつとめさせていただきました。コロナ禍の折、行事が延期や縮小する中での任であり、思うような活動が出来なかったことは残念でもありました。改めて、例年通りの「当たり前」の日常が「有難い」ことであったと認識いたしました。居て当たり前の人、有って当たり前モノ等々、失って初めてその有難さが深く身に沁みました。

97歳で大往生いたしました師匠であり祖父である当山二十八世大澄隆司大和尚、4月に行われました本葬の折に、ご弔問賜りました当山檀信徒各位、有難うございました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。合掌

